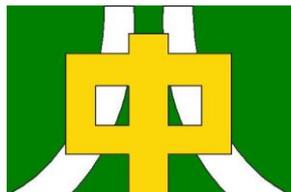


# 八中夢だより



学校通信 第10号 令和8年2月号

東広島市立八本松中学校

〒739-0144 東広島市八本松南二丁目2番1号

TEL (082)428-0202 Fax (082)-428-0279



## 文武一体「力ある人間」の育成 ～文武一体の中で人としての力を育てる～

「八本松中学校ブリッジ奨学基金財団」という財団があります。昭和44年に、高橋績二、龍子ご夫妻が主唱し設立された財団です。高橋績二氏は、医師として医療を通して地域の発展に大きく貢献されました。その後、昭和49年に東広島市議会の初代議長に就任され、議長を9年間も務めておられます（歴代最長の任期です）。平成5年には、「東広島市名誉市民」の称号も受けられています。

財団名に「ブリッジ」と入っているのは、「理想社会、理想的な人間像への夢の懸け橋」という意味が込められているそうです。「八本松中学校の生徒を対象とし、教育、文化、体育に精励努力し、社会に奉仕し、友愛の美をなすなど、より良い町づくり、人づくりのための範となった行為を称揚し、奨励する」が目的で、八本松中学校の「文武一体」の精神を支え、応援して下さる存在です。

毎年、その年度で顕著な功績を残した生徒を表彰していただいています（中国大会以上出場の横断幕の作製も）。今年度は、3人の生徒が対象になりました。「全国都道府県対抗中学校バレーボール大会」に広島県選抜の中心選手として全国ベスト8入りに貢献した生徒、「広島県中学校陸上競技選手権大会」「全日本中学校通信陸上競技広島県大会」の女子走り高跳びで1位になった生徒、「全日本中学校通信陸上競技広島県大会」の女子1500mで1位になった生徒です。3月5日の予餞会の中で、ブリッジ財団理事長より大変立派な「顕彰盾」を贈呈していただきます。

「八本松中学校ブリッジ奨学基金財団」の支援は、八本松中学校の大きな励みになっています。感謝の気持ちで、スポーツ、文化・芸術等に打ち込み、「理想社会、理想的な人間像への夢の懸け橋」として少しでも貢献していきたいと思えます。



## 「五『カン』」の修学旅行 ～2学年～

2月1日、2学年生徒は中学校生活において印象深い行事の一つである修学旅行として長崎県をはじめ、佐賀県、福岡県の3県を訪れ、歴史や文化、自然に触れながら3日間の見聞を深めました。長崎は、81年前の1945年8月、広島に続いて原子爆弾が投下され、多くの人々の命が失われた地です。広島で育った私たちは原爆被害の惨状について学んできていますが、長崎での学びを通して、平和への強い思いの意識にさらにつながりました。また、この平和都市である長崎は、中学生が歴史を学習する中で何度も登場する都市です。江戸時代の鎖国政策の元で唯一オランダと交易を行った出島。ハウステンボスは、そのオランダをモデルとしたテーマパークです。その他、戦国時代の豊臣秀吉の朝鮮出兵によって影響を受けて生まれた有田焼。平安時代の貴族を祀った太宰府天満宮。

この修学旅行を実施するにあたり、2年生生徒は「五『カン』で楽しむ九州」をテーマに事前学習からの学習を行ってきました。この「五『カン』」とは、「緩急～メリハリをつけて」「感謝～感謝の気持ちをもって」「歓笑～楽しく笑って」「寛容～広い心と思いやりをもって」「管理～自分の行動や体調をコントロールして」であり、修学旅行実行委員が考えたものです。旅行当日は、生徒一人ひとりがこの「五『カン』」を意識した行動によって、全ての生徒が元気に過ごし、たくさんの思い出とともに充実した3日間の修学旅行となりました。



## 幼児のおもちゃ ～3学年～

3学年の家庭科の授業では、「保育」を学習します。その学習において、幼児に向けたおもちゃ作りを行いました。そのおもちゃは、幼児がただ遊ぶだけでなく、幼児の「巧緻性」「表現力」「運動能力」などの向上を意識した作品となるよう制作しました。授業では、生徒が互いのおもちゃを使用しての感想をもとに改善・改良を加えていきました。完成したおもちゃは、八本松町内のこども園や保育園へ届け、実際に園児の皆さんに使って遊んでもらいました。



## 働くとは ～1学年～

キャリア教育の一つとして1年生を対象に職業講話を行い、8つの事業所の方により仕事についての話をいただきました。各事業所の方からは、仕事内容やその仕事に就くまでの進路選択や必要な資格・学びについて、具体的な経験を交えて分かりやすくお話しいただきました。また、仕事のよろこびややりがいに加え、思うようにいかないことや責任の重さなど、大変さについても率直に語っていただきました。さらに、中学生の今、進路を考えるうえで大切にしてほしいこととして、「一人ではなくチームで」「どんどんチャレンジして、どんどん失敗してほしい」「勉強など自分の決めたことを守る習慣を身に付ける」など学校生活での学習や生活態度の積み重ねが将来につながることを、自分の得意なことや興味を知ることの大切さについてのアドバイスがありました。生徒たちは、働くことは自分の生き方や進路選択と深く結びついているという労働観に触れ、将来の職業や高校進学について主体的に考える貴重な機会となりました。

## 頑張りの足跡

### 《広島県新人大会》（団体は入賞以外も紹介）

卓球の部 男子団体 ベスト8

女子団体 出場

剣道の部 女子団体 出場

### 《東広島市新人駅伝競走大会》

男子の部 第1位 八本松中A

第3位 八本松中B

区間賞 第1区 浦邊 第2区 新屋

第4区 蛸原 第5区 竹田

第6区 田島

女子の部 第3位

区間賞 第1区 瀬尾

### 《東広島市中学生バレーボール大会》

男子の部 第3位

### 《HIGASHIHIROSHIMA『少年の主張』》

審査員特別賞 伊藤菜（2年）

### 《交通安全ポスターコンクール》

東広島交通安全協会会長賞 山根楓（1年）

佳作 守本（1年）

### 《交通安全作文コンクール》

佳作 伊藤美（3年）

## 今後の予定

1月		
25	火	第3回学校運営協議会 公立高等学校入学者選抜（～27日）

3月		
5	木	予餞会
6	金	卒業証書授与式
15	日	市中学校新人演奏会
23	月	大掃除
24	火	進路説明会・学級懇談会
25	水	修了式、離任式

## 教育相談窓口

気になることがあれば、どんなことでも  
遠慮なくご相談ください

《体罰・セクハラ・教育相談》

信行智玄（教頭）

岡村雄二（生徒指導主事）

山本ももか（不登校等生徒支援 Co.）

奥田凌子（養護教諭）

《SSR（スペシャルサポートルーム）》

山本ももか 山上忍

《SC（スクールカウンセラー）》

谷田寿幸【第1・3 木曜日が中心】

《SSW（スクールソーシャルワーカー）》

下手佐智代【火・木曜日】